



CANジャーナル

2022
令和4年
8・9月号

学校法人 中村学園
専門学校 静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

令和4年7月7日（木）静岡新聞に掲載された論評

「七夕祭りに平和と防災願う」

静岡福祉医療専門学校 顧問 神田 均

今年もまた七夕祭りがめぐって来た。私などもその日が近づいて来ると、それぞれの願いを短冊に書き、その年の若い笹竹に結びつけ、七夕飾りをしたものだ。それはまた習字が上手になることを願ったものだった。しかし、昭和ヒトケタ生まれの私などは、何故か昔の出来事を思い出してならない。

昭和12年4月小学校に入学した私たちは、その年の七夕の日に突然宣戦布告がないままの日中戦争が始まった。最初に習った国語の教科書は「サイタ、サイタ、サクラガサイタ」で始まり、次に「ススメ、ススメ、へタイススメ」と続き、知らぬ間に軍国少年に育てられていった。

昭和20年春、旧制中学3年生になった私たちは、「ペンをハンマーに持ち替えさせられ」日本鋼管清水造船所に就労働員。その年の七夕の早朝（午前1時頃）アメリカのB29 60機による清水大空襲を受けた。

私はその日に限って荷物を防空壕にも入れなかった。そして私たちの寄宿舎が全焼するのを近くの田んぼの中にあつた大きな土管の中より震えながら眺めていた。翌日は末だくすぶる清水の街を後にして、一日かけて自宅（現御前崎市佐倉）に一時帰省をした。その時は荷物はなく防空頭巾を肩に下駄バキ姿のままであった。

あれから77年を経て、二度と起こらないと思っていた戦争が、今また遠いウクライナで…。

1日も早い平和の日が来るようにただ祈るばかりである。

8月の行事予定

- 1日（月）1TW・CW第1期実習 ～6日（土）
3TW第5期実習 ～9/3（土）
- 6日（土）SPオープンキャンパス 13:15～
- 8日（月）E・CP・ORT 前期試験、補講授業
- 11日（木）山の日、夏季休校 ～16日（火）
- 20日（土）SPオープンキャンパス 13:15～
- 25日（木）J・B検CBT 15:00～
- 27日（土）貯水槽点検清掃

学外での「自己紹介」、どうアピールする？

進路室長 橋野 幸男

授業の冒頭で学生の「自己紹介」を、次のような設定で行っています。

今日、皆さんは、県内の大学生・専門学校生が集う「就活セミナー」に参加しています。これから、数人のグループ（メンバーの選考や就職希望分野はバラバラ）に分かれて、『これまでの就活準備、これからの就活』をテーマに交流します。まず、**自己紹介を1人1分間**で。さあ、あなたの番です…。

この時、「学校・学科名、学年、氏名」だけを述べる、あるいは、「1番目の学生がした自己紹介の内容をコピーする」、つまり1番目の者が出身地や趣味などを入れると、自分もその項目を完全コピーしていく、そんな人が多いのではないのでしょうか。自分の個性をアピールする、良い意味で目立つ。そうした学生が少ないのは、とても残念です。

これから、ゼミでの産学連携や就活準備イベント・インターンシップなどで、学外者に向けて「自己紹介」を行う機会が増えていきます。その際、次の2項目は必須です。

- ①『**自分は、何者か？**』： どんな仕事を目指して、そのために今どこで、何を学んでいるのか。持っている「強み」、身に付けようとしている「強み」は何か。
- ②『**なぜ、ここに来たのか？**』： (①を踏まえて、) なぜこのイベントに参加したのか。「経験したいこと」「得たいもの」そして「将来に活かしたいこと」は何か。

ここで、山田ズーニーさん（ベネッセ進研ゼミ小論文編集長 → 文章表現・コミュニケーションインストラクター）の著作から、「自己紹介」に関する幾つかの言葉を紹介いたします。

過去、現在、未来のつながりをもって自己を語る。「過去」は、その人の歴史であり、背景だ。「未来」は、その人のベクトルであり、志だ。「過去、現在、未来」を関係づけて語ることで、聞く人は、～、その連続性から、決して軽んじてはいけない、信頼に足る存在である、という印象を持つ。**あなたの主旋律が線として浮かび上がるというわけだ。**自己表現にはとにかく勇気が要るものだ。大きな勇気は出さなくてもいい。でも、**短い自己紹介ひとつにも、短い自己紹介ひとつ分の勇気が要る。**いまの自分から、もう一歩だけ勇気を出して、初めての人に、自分の**主旋律を伝え、出逢いをものにしていこう！**

こうした「自己紹介」の繰り返しが自分の考え・想いを外化（がい化。Externalization ⇨アウトプット）する経験の積み重ねとなり、やがて履歴書・エントリーシートの「自己PR」や「志望動機」につながっていきます。

企画広報室より

企画広報室 河内 嘉美

いよいよ夏本番！本学は今年も夏の Special オープンキャンパスを開催中です。8月6日（土）の第2弾「卒業生が語る！業界・仕事の魅力」では、本学卒業後数年が経過した卒業生がゲストとして来校し、実際の仕事の内容や職場の様子を紹介しながら、専門学校の学びが就職後どのようにいかされるのかお話ししてくれます。体験授業では卒業生がデモンストレーションやレクチャーをしたり、職場で活用しているSDG'sについてお話ししてくれるなど、ゲストと一緒に楽しみながら仕事について知ることができる内容となっています。

8月20日（土）の第3弾「プロと一緒に現場で使える専門スキルを体験！」では、プロとして長く業界で活躍している職業人の方をゲストにお招きします。中には本学卒業生の方もいらっしゃいます。仕事で使える実践スキルをゲストが直接伝授してくれ、また、将来のキャリアアップもわかるお得なスペシャルとなっています。

夏の Special オープンキャンパスは、現場の方の生の声が聞ける貴重な機会であり、続けて参加することで目指す仕事の内容や、その仕事での将来像をイメージすることができます。もしみなさんの周りに進路選択の時期を迎えている方がいらっしゃれば、ぜひご参加いただけるようお誘いしてみてください。CANスカラシップ生をはじめとする在校生の参加者のみなさんも、ゲストの話をしっかりと聞き、今後に役立てていってもらえればと思います。

福祉 13:15～ 電子 14:00～

夏の Special オープンキャンパス

「学校生活紹介

授業・実習について先輩に聞こう！」

専門学校の学校生活ってどんな感じ？在校生が授業・実習、学校生活等を紹介！専門学校の授業を一緒に体験しよう！

〈終了〉参加者から、仕事や専門学校についての理解が深まったとの感想をいただきました！TAとして指導してくれた学生、ありがとうございました！

「卒業生が語る！業界・仕事の魅力」

専門学校の学びが就職後どう活かされているのか、卒業生が業界の魅力とともにアツク語る！一緒に楽しい体験授業も！

「プロと一緒に現場で使える専門スキルを体験！」

第一線で活躍している専門家が仕事で使える実践スキルを伝授！将来のキャリアアップもわかるお得なスペシャル！

令和4年度 子ども心理学科 卒業生を囲む会

令和4年7月14日(木)実施 子ども心理学科1年 小林 夢衣乃

今回、保育園・認定こども園・放課後等デイサービスで現在勤務されている、卒業生のお話を聞かせていただきました。職場で身に付けたいことや学生生活の中でやっておくべきことなど、様々なことを学ぶことができました。

私が今回お話を聞かせていただき、特に印象に残った先輩の言葉は「就職してから日々勉強」です。これは先輩方3人ともがおっしゃっていた共通の言葉です。保育士として働くためには、私たちが学校で勉強していることだけでなく、就職後も勉強するべきことが多くあるということが分かりました。

子どもたちと関わるうえで、全員の子どものように関わるのではなく、1人ひとり違う発達段階や性格、個性があるということを認識しなければならないことが分かりました。

今回のお話で教えていただいたことや気づいたことを、将来就職した際にしっかり活かせるようにしたいと思います。

幼稚園教育実習を終えて

令和4年6月1日(水)~6月24日(金) 子ども心理学科3年 伏見 菜穂

今回の実習では、「**集団生活において個性や発達段階に合わせた声掛けや援助方法を学ぶ**」を目標とし、実習に挑みました。実習では、実際に参加しないと体験ができないことに多く出会います。

学校では、「**子どもの発達に合わせた援助を行う**」と理論として学びます。実際に4歳児であれば、着替えはほぼ自立できるでしょう。

しかし、汗をかき、べったり張り付いた衣類を脱げない場合は、教師が手を貸すことも必要です。その時の状況と子どもの様子から手を貸すべきか否か判断が求められるのです。これが専門職として求められる判断力だということに気づくことが出来ました。

また、責任実習で行った制作活動では、「**切る→描く→貼る**」という工程があり、子どもの個人差が出ました。沢山描きたいと考える子、早く切りたいと考える子、製作したものですぐに遊びたいと考える子などです。

そのため、その日の活動のねらいと照らし合わせながら、落としどころを決め、流れを作るという難しい判断が求められました。

このように、実習では、参加しないと経験できない深い学びを得ることが出来ました。

そして、最もうれしかったことは、子どもたちが「**今日は楽しかったよ**」と、言ってくれたことです。先生方からも、子どもたちに「**楽しかった**」と言ってもらえたなら、一番良い事だと言っておき、大変うれしく思いました。実習先の皆様、子ども達、ご指導いただいた先生方、本当にありがとうございました。

株式会社システムソフィアへ学外研修に行ってきました！令和4年7月1日(金)実施 IT ゲーム&ロボットシステム学科1年 阿部 泉咲
初めてのフィールドスタディーで大きな収穫！

IoT、組み込みシステム開発を目指すITゲーム&ロボットシステム学科2年生と1年生、計3名が株式会社システムソフィアの社内研究会に参加させて頂きました。

初めてのフィールドスタディーで緊張する中、卒業生でもある企業の方に向けて、一人ひとりの職業観についてプレゼンし、評価して頂きました。私は「**誰かを幸せにするIT**」、「**自在にロボットを動かしたい**」という思いを伝えました。プロの方から評価して頂く中で、「**誰に向けた製品を開発したいのか**」、「**IoTでどのようなソリューションを提供したいのか**」について深く考える機会となり、また、自分の言葉で表現したことで、自分の目標、将来像がより明確になりました。

続いて、業務内容、開発されている製品群をご紹介頂いたあと、実際に開発された製品、実験中のユニット、基板などを見せて頂きました。技術がどのように形になるのか、実際に自分の目で確かめられ、大変貴重な経験となりました。後日、クラスメイトにプレゼンし、情報共有しました。

次回からは、マイクロマウスの研究に参加させて頂く予定です。事前学習を通して、フィールドスタディーをより有意義なものにし、学校生活に活かせるよう、しっかり準備して臨みたいと思います。次回からも、積極的に参加していきます。

「子どもの居場所支援」 川勝県知事からお礼状を受け取りました！
学生・教職員の皆さんの気持ちを伝えてきました！

子ども心理学科のスカラシップ生の呼びかけで、校内で「子どもの居場所づくり」を支援する募金活動が行われました。7月26日、集まった35,006円をスカラシップ生3人が県の健康福祉部長に手渡し、川勝県知事からお礼状を受け取りました。

子ども心理学科

3年 築地大祐くん

2年 勝又小乃葉さん

1年 杉本侑紀奈さん

7月28日の静岡新聞に掲載されました！



9月の行事

- 1日(木) 登校日(全学科) 防災訓練・大掃除
3TW第5期実習 ~9/3(土)
- 2日(金) E・CP・ORT 追再試補講期間 ~9/16(金)
- 10日(土) オープンキャンパス 13:15~
- 19日(月) 敬老の日
- 20日(火) 後期講義開始
- 22日(木) オープンキャンパス 17:00~